

会 議 議 事 録 (要旨)

1	会議名	令和3年度 第4回柏崎市地域公共交通活性化協議会
2	開催日時	令和3(2021)年10月29日(金曜日)午後2時30分から
3	開催場所	柏崎市文化会館アルフォーレ マルチホール
4	出席者名	別紙のとおり
5	協議事項	柏崎市地域公共交通計画の骨子案について
6	協議結果の概要	協議事項について、地域公共交通計画の方向性を確認し、反対意見等はなかった。
7	審議の内容	
	【協議事項】	柏崎市地域公共交通計画の骨子案について
	事務局	資料に基づき、協議事項を説明 (以下、質疑応答)
	本間委員	・第五次総合計画の検討に入っているという話があったが、総合計画の基本計画と新交通システムとのすり合わせはしているのか。
	事務局	・第五次総合計画の後期基本計画については、11月9日までパブリックコメントを実施中であり、市役所や市のホームページで閲覧が可能である。総合計画は市の方向性を示す最上位計画に位置付けており、その中で公共交通の維持や生活の足の維持に関するものを主要施策として挙げている。整合性という部分について、総合計画においては具体的な施策は記載していないが、それらを実現するための具体的な手段を記載するのが公共交通計画という位置づけである。
	本間委員	・私は市の防災会議の一員である。万一原子力発電所で事故が発生した場合、足がない人はバスに乗って避難すると思うが、そのバスは今まで大型であるが、新交通システムだと7人乗りの車両を活用するという事で、防災面においてもすり合わせができていのかどうか懸念される。
	事務局	・防災担当と協力をしながら計画策定を進めていく。
	本多委員	・中央、比角、半田、枇杷島地区周辺には高齢者が多く、数年経つと免許返納をする時期がやってくる。計画では、地域の中で長く住み続けられるという方針が示されている中で、7人乗りの小型車両の導入についてうれしく思う。7人乗りのバスがどのようなルートで回るのかについては次回説明があると思うが、非常に興味がある。一方で、雨や雪、風をしのげる対策を盛り込んでもらいたい。また、積雪時にバスに乗る際は雪を乗り越えてバスに乗るが、高齢者自らがスコップを使って乗るのは苦痛である。

本多委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高速バスについて、駐車場ができたことに感謝する。しかしながら、柏崎駅前から出発するバスに乗りたいという人がたくさんいるので、バスの本数の少なさにも対応してもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新交通システムのルートについて、路線バスなどでは決められたルートで運行しているが、新交通システムでは、ルートは決まっておらず、予約に応じて、その都度、最適なルートで運行する。 ・待合所の問題について、予約制の場合、到着時間が具体的に分からないという心配があると思うが、AI オンデマンドシステムを活用することで予約時に、具体的な到着時間を通知することができる。新しい技術により、外で長い時間待たなくて済むようにしたい。 ・乗降ポイントの選定に関しては、積雪時も想定した上で、適切な場所を考えていきたい。 ・高速バスは運行本数が減少しており、利便性が低下していることは否定できない。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は、ますます減少していることから、増便することは難しいと考える。そのような状況において、上越発着便を活用することが考えられるが、利用するには、同便の停車場である柏崎インターまで移動手段の確保が必要となる。新交通システムの導入により、その問題を解消できると考える。
田村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新交通システムプラス郊外地域交通ネットワークの構築ということで、西山地区においても地域内交通の再編を進めているところである。西山地区では、クリニックやかかりつけ医等の通院で多く活用されており、また、旧市街にある整形外科や医療センター、新潟病院などに通院する機会も多い。市内中心部までは路線バスや越後線を利用し、そこから医療センターまでのバスに乗り換えなければならない、利便性が悪い。新交通システムを予約する場合は、郊外から来た人でも予約が可能なのか。新交通システムに乗り換える手間は路線バスと同じだと思うが、利便性が上がるのではないかと期待している。 ・イトーヨーカドーが撤退し、中心部の商業施設が少なくなってきており、大型スーパーは郊外に広がってきている。郊外から来る高齢者は、郊外のスーパーまでどのバスを利用すればいいのかわからないと思うが、新交通システムを利用できれば最短で行けてわかりやすくなると思う。帰りの便の予約もできるとありがたいが、医療機関では帰りの時間が不確実なため、予約時間の融通が利くとより利便性が高まると思う。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新交通システムは、エリア内の人だけではなく郊外地域にお住まいの方、さらには市外の方でもご利用いただけるものを想定している。新交通システムのエリア内に結節点を設けるなどして、郊外にお住まいの方にとっても利用し易いものにしていきたい。 ・実際に新交通システムが活用されるのはいつ頃になると考えているのか。 ・どのような運賃形態を考えているのか。 ・新交通システムの導入スケジュールについては、次回の協議会において示す。本計画は、令和4年度から令和8年度までの5か年の計画になる。そのため、5か年の間で実証運行、本格運行を進めていきたいと考えている。 ・運賃形態について、今後、具体的に検討していく。 ・資料にある通り、朝と夕方の時間帯は、高校生の登下校などにより利用者数が多いことから、大型車両による定時定路線運行が望ましいと考えている。引き続きそのような形で進めてほしい。また、高校生の路線バス利用状況についてデータを示してほしい。 ・高校生の路線バス利用状況について、計画策定に向けて、令和2年度に市内6校の高校2年生を対象としてアンケート調査を実施した。バスを利用している人は通常時で全体の8%、雨天・降雪時においては14%となっている。乗降調査においてもそれなりの利用があることを認識しており、朝と夕方については大量輸送が可能である路線バスが適していると考えている。 ・北陸信越運輸局管内において、AI オンデマンドを活用している事例は少ないため、新交通システムが都市計画区域という広い区域の中でどう機能していくか注視していきたい。その観点で、評価指標との関係がわかりにくかったので補足等あれば教えてほしい。 ・商業や観光、医療との連携について、交通が連携するのはAI オンデマンドのみを対象とするのか、または既存の路線バスやタクシー等の統合も見据えて検討しているのか。 ・新交通システムの評価について、基本的には計画で定める4つの評価指標を用いることを考えている。そのほかに、必要に応じて様々なデータを用いて、丁寧に効果を検証していきたい。 ・商業施設、観光施設、医療機関等との連携について、新交通システムのみを対象とすることで考えている。 ・話を聞く限り、AI オンデマンドシステムの導入によって利便性が高まりそうだが、課題に挙がっている市の財政負担の拡大の観点からみると、原資はどうするのか。
藤田委員	
事務局	
吉川委員	
事務局	
玉巻委員	
事務局	
本間委員	

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画における目標には、利便性の向上だけでなく、運行の効率化、経費の縮減も含めている。既存の公共交通の見直し・再編・調整を行うことで、新交通システムの導入に係る経費を捻出したいと考えている。
吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・AI という単語が出てきているが、それはAI ではないと思う。アルゴリズムは理解できるが、AI で何かやろうとするときに、デジタル化してデータを蓄積し、AI で分析して配車するため、はじめからAI ということはある得ない。そのため、表現上もAI ではなく、最短ルートを結ぶような手法を用いたソフト等ではないのか。 ・MaaS について、新潟県内の高速バスの停留所から目的地までバス事業者とタクシー事業者が連携するという計画がある。高速バスは冬季に遅延するが、遅延情報の取得は可能である。JR も MaaS に取り組んでいるため、JR とも連携しないと情報をリンクさせるのは難しいと思う。 ・7人乗りのUD 車両は現実にあるのか。できればUD レベル2まで到達してほしいが、5人乗りの車でもUD レベル1しかない。UD レベル2を見据えて整備を進めていかなければならないと思う。 ・柏崎市内で乗降ポイントを選定する際に問題となるのが、道幅が狭いところが多い点である。また、オペレーションはどこがやるのか。例えば、遅れたときでも利用者に連絡できるような配慮があればよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・AI オンデマンドについては、誤解のないように表現を確認する。 ・車両については、実証実験までにどのようなものか検討していきたい。 ・オペレーションについて、丁寧な対応が必要だと考えている。運行主体などと含めて、今後検討していく。
<p>【その他】</p> 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス通学割引キャンペーンについて、11月15日から来年2月25日までの期間で実施する。 ・次回の協議会は11月26日の14時から、アルフォーレのマルチホールにて開催予定。

■ 協議会の様子

